YAMAHA

J

TSX-100

デスクトップオーディオシステム





ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

■ 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用下さい。

■ 保証書は、「お買い上げ日、販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

取扱説明書

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。
お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。


警告 この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

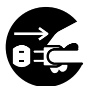

注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

⚠ 警告

電源/電源コード

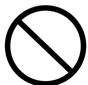


電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
- **異常なにおいや音がする。**
- **異常に高温になる。**
- **内部に水や異物が混入した。**
- **煙が出る。**

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



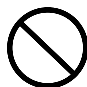
電源コードを傷つけない。
- **重いものを上に載せない。**
- **ステープルで止めない。**
- **加工をしない。**
- **熱器具には近づけない。**
- **無理な力を加えない。**

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

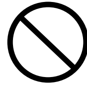


必ずAC100V (50/60Hz)の電源電圧で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

電池



電池を充電しない。
電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因になります。



電池からもれ出た液には直接触れない。
液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

分解禁止



分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因になります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置



本機を下記の場所には設置しない。
● 浴室・台所・海岸・水辺
● 加湿器を過度にきかせた部屋
● 雨や雪、水がかかるところ
水の混入により、火災や感電の原因になります。



放熱のため本機を設置する際には:
● 布やテーブルクロスをかけない。
● じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
● 仰向けや横倒しには設置しない。
● 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
(本機の周囲に左右10cm、上10cm、背面10cm以上のスペースを確保する。)
本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

使用上の注意



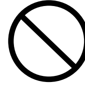
ディスクの挿入口や、放熱用の通風孔、パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。
火災や感電の原因になります。



本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。



本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。
水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

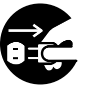
手入れ



電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。
ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

⚠ 注意

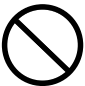
電源/電源コード



長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因になります。



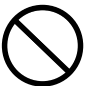
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。



電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。

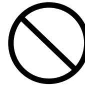


電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。
感電や発熱および火災の原因になります。

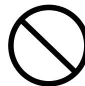
電池



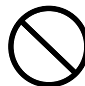
電池は極性表示(プラス+とマイナス-)に従って、正しく入れる。
間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



指定以外の電池は使用しない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。
電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

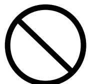


使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外す。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。


必ず実行

使い切った電池は、自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。

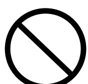
設置


禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。


禁止

直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。


禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。

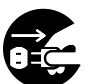

必ず実行

他の電気製品とはできるだけ離して設置する。
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。


必ず実行

屋外アンテナ工事は販売店に依頼する。
工事には、技術と経験が必要です。

移動

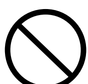

プラグを抜く

移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上の注意


必ず実行

再生を始める前には、音量(ボリューム)を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。


禁止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。


禁止

大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。


禁止

ディスクスロットには手を入れない。
本機のメカニズムに手を引き込まれ、けがの原因になります。


禁止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクを使用しない。
ディスクは、機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因になります。


注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。
正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。


禁止

レーザー光源をのぞき込まない。
レーザー光が目に当たると、視覚障害の原因になります。


禁止

業務用機器とは接続しない。
デジタルオーディオインターフェース規格は、民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となります。

手入れ


必ず実行

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。


禁止

薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。


注意

年に一度くらいは内部の掃除を販売店に依頼する。
ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因になります。

目次

はじめに

準備

操作

その他の情報

特長

- スタイリッシュでコンパクトなデザイン
- 音楽 CD、MP3/WMA CD-R/RW 対応
- iPod 再生機能
- FM/AM チューナー内蔵
- 多機能リモコン付属
- タイマー、アラーム機能

SR·Bass

「Swing Radiator Bass™」はヤマハ株式会社の登録商標です。

iPod

「iPod」は、米国及びその他の国々で登録された Apple Inc. の商標または登録商標です。

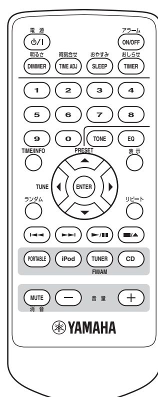
■ 本書について

- 本体とリモコンのどちらでも操作できる場合は、リモコンでの操作を中心に記載しています。
- ☞ は参照先のページを表します。
- 「ご注意」では操作・設定を行うときに留意すべき事項、💡 では知っておくと便利な補足情報を記載しています。
- 本書は製品の生産に先がけて作成されたものです。製品改良などの理由で実際の製品や梱包箱と内容が一部異なる場合がございますのでご了承ください。

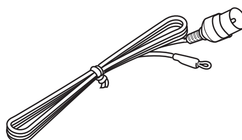
■ 付属品

梱包箱を開封後、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

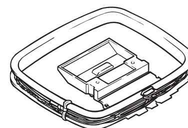
リモコン



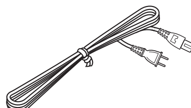
FM 簡易アンテナ



AM ループアンテナ

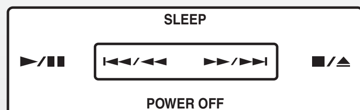


電源ケーブル



各部の名称とはたらき

フロントパネル



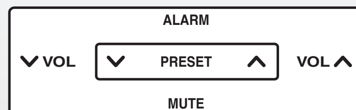
►/❚❚（再生／一時停止）
再生を開始または一時停止します。
(☞ P. 11、13)

■/⏏（停止／取り出し）
再生を停止します。また、再生が停止しているときに押して CD を取り出します。
(☞ P. 11、13)

⏮/◄◄、►►/⏭（早戻し／早送り、スキップ）
再生中のトラックまたは次のトラックの開始位置にスキップします。長押しすると、早戻し／早送りします。(☞ P. 11、13)

POWER OFF（パワー オフ）
本機の電源をスタンバイにします。(☞ P. 6)

SLEEP（スリープ）
スリープタイマーを設定します。(☞ P. 21)



VOL（ボリューム） ∧/∨
音量を調節します。(☞ P. 8)

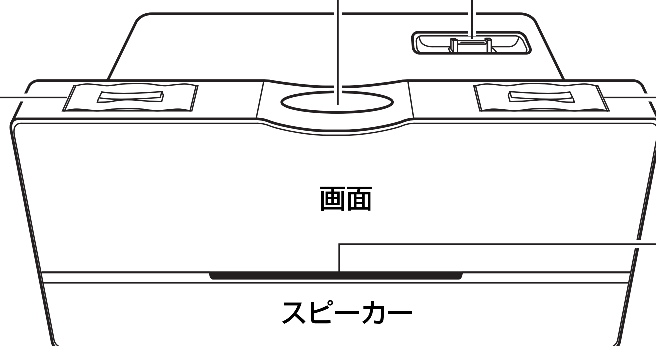
MUTE（ミュート）
消音します。(☞ P. 8)

PRESET（プリセット） ∧/∨
登録した放送局を選びます。
(☞ P. 19)

ALARM（アラーム）
アラームを設定します。(☞ P. 20)

INPUT/SNOOZE（インプット／スヌーズ）
本機の電源をオンにします。(☞ P. 6)
繰り返し押すと本機の入力が切り替わります。(☞ P. 8) また、アラームが鳴っているときに押してスヌーズ機能をオンにします。(☞ P. 20)

iPod 端子 (☞ P. 13)



ディスクスロット
(☞ P. 11)

リモコン

電源 ⏻/I

本機の電源をオンまたはスタンバイにします。
(☞ P. 6)

明るさ DIMMER

画面の明るさを切り替えます。
(☞ P. 10)

TIME/INFO



CD や iPod の情報を表示します。(☞ P. 15)

カーソル (▲/▼/◀/▶)、エンター（ENTER）キー

ランダム



ランダム再生を設定します。(☞ P. 16)

PORTABLE iPod TUNER FM/AM CD

入力ソースを選びます。

ポータブル
PORTABLE キーを押すと、本機の入力が背面の PORTABLE 端子に接続された機器に切り替わります。(☞ P. 16)

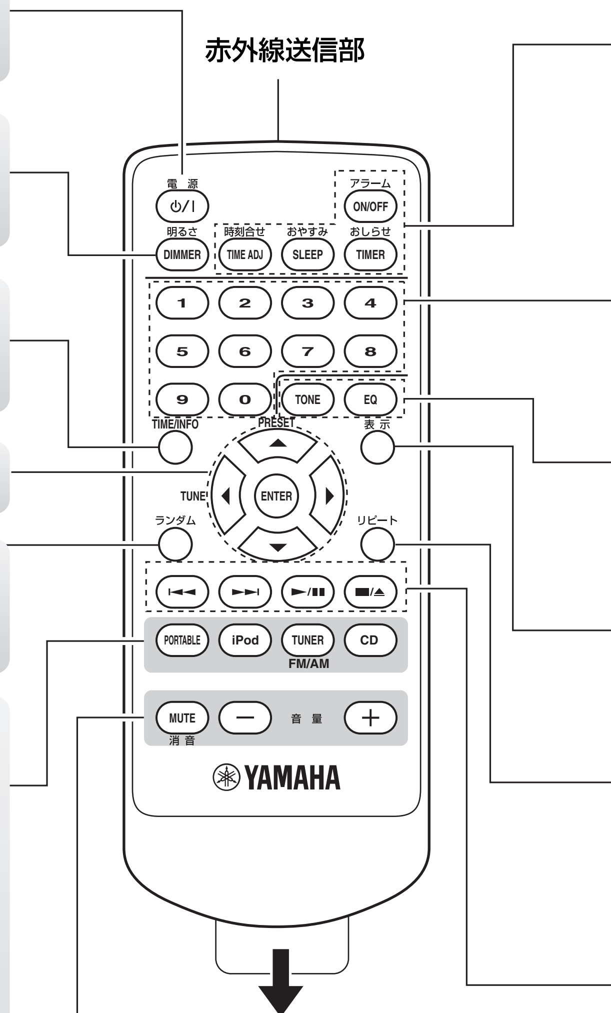
アイポッド
iPod キーを押して、iPod 端子に接続された iPod の再生を開始します。(☞ P. 13)

チューナー
TUNER キーを押して入力をラジオ放送に切り替えます。**TUNER** キーを押すたびに FM と AM が切り替わります。(☞ P. 17)

シーディー
CD キーを押してディスクスロットに挿入された CD の再生を開始します。(☞ P. 11)

MUTE 消音 — 音量 +

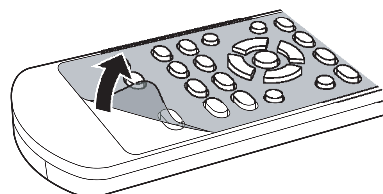
音量を調節します。(☞ P. 8)



リモコンを使用する前に、絶縁シートを引き抜いてください。



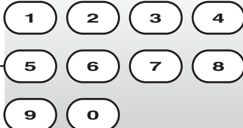
リモコンを使用する前に、外装保護シートをはがしてください。





タイマーと時計の各種設定をします。

アラーム ON/OFF: アラームのオン／オフを切り替えます。(☞ P. 20)
TIME ADJ: 本機の時計を設定します。(☞ P. 7)
SLEEP: スリープタイマーを設定します。(☞ P. 21)
TIMER: タイマーを設定します。(☞ P. 21)



トラックの番号や、登録した放送局のプリセット番号を選びます。(☞ P. 11、18、19)



音質を調節します。

TONE: 低音または高音を調節します。(☞ P. 9)
EQ : イコライザーモードを選びます。(☞ P. 9)



表示される情報を切り替えます。(☞ P. 10)



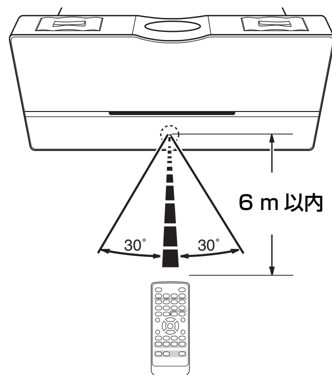
リピート再生モードに切り替えます。(☞ P. 16)



再生を制御します。

⏮、⏭: 再生中のトラックまたは次のトラックの開始位置にスキップします。長押しすると、早戻し／早送りします。(☞ P. 11、13)
▶/❚❚: 再生を開始または一時停止します。(☞ P. 11、13)
■/⏏: 再生を停止、または再生が停止しているときは CD を取り出します。(☞ P. 11、13)

■ リモコンを使用する



リモコンで本機を操作するときは、リモコンの赤外線送信部を本体のリモコン受光部に向けます。リモコン操作が可能な範囲は、本体から6 m 以内です。

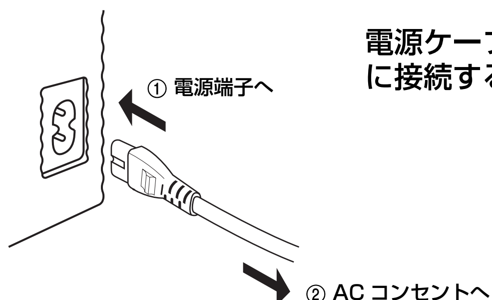
ご注意

- リモコンの赤外線送信部と本体のリモコン受光部の間をさえぎるような物を置かないでください。リモコン操作ができなくなることがあります。
- リモコンに水や飲み物などをこぼさないようご注意ください。
- リモコンを落としたり、リモコンに強い衝撃を与えたりしないようご注意ください。
- リモコンを以下のような場所に放置しないでください。
  – 気温・湿度が高い場所（ヒーターの近くや風呂場など）
  – 極端に気温が低い場所
  – ほこりっぽい場所

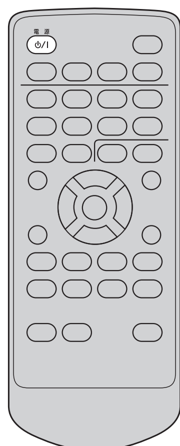
リモコンの電池を交換するには（☞ P. 24）

本機を使用する前に

電源を入れる



電源ケーブルを本機の電源端子に接続し、コンセントに接続する。



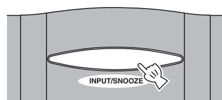


電源をオンにする

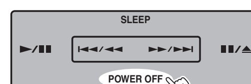
もう一度押すとスタンバイになります。

トップパネル操作

本機のトップパネルでも、上記の操作をすることができます。



電源をオンにする。



スタンバイにする。



・スタンバイ時には、少量の電力を消費します。

・スタンバイ時に時刻、月日を表示させせたり（ECO OFF）、消したり（ECO ON）することができます。

1 スタンバイ時に本機トップパネルの **MUTE** ボタンを長押しします。
→ ECO ON 表示または ECO OFF 表示が点滅します。

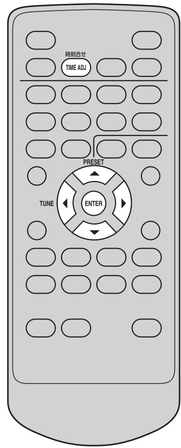
2 点滅している間に **MUTE** ボタンを押して ECO OFF、または ECO ON を選択します。

3 そのまま数秒待ちます。
→ ECO OFF または ECO ON が設定されます。

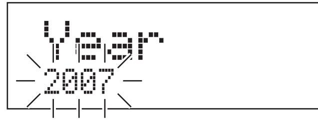
	ECO ON のとき	ECO OFF のとき
スタンバイ時の画面	(表示されません)	11:22PM 12 Oct Fri (日時が表示されます)

・本機はスタンバイ時にも、設定などを保持します（メモリーバックアップ機能）。ただし、電源コードをコンセントから抜くなどして、電力が一週間以上供給されないと保存した設定は失われますので、ご注意ください。

時計を合わせる

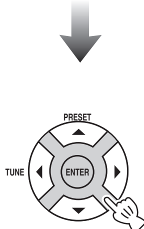






ご注意

画面の表示が消えているときは、電源をオンにしてから設定してください。

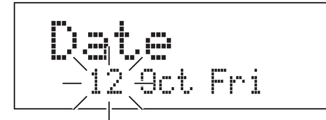


日時を合わせます。

◀/▶
年／日／月／時／分／
午前または午後を選びます。

▲/▼
年／日／月／時／分／
午前または午後を合わせます。

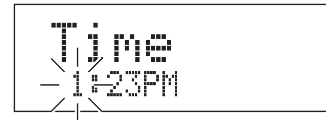
例



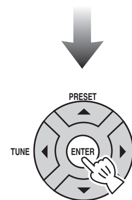
Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun
1月	2月	3月	4月	5月	6月

Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec
7月	8月	9月	10月	11月	12月

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
日	月	火	水	木	金	土



AM	PM
午前	午後

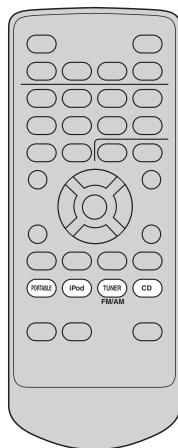


確定します。

準備

基本操作

入力ソースを選ぶ



ポータブルプレーヤーの音楽を聴くには



iPod を聞くには



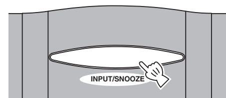
ラジオ放送（FM/AM）を聞くには



CD を聞くには

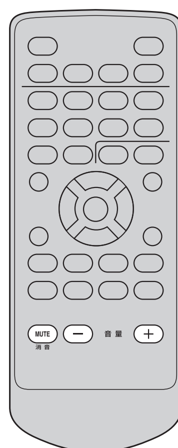


トップパネル操作



繰り返し押します。

音量を調節する



音量を上げるまたは下げるには





ボリュームレベルが 41 以上の状態で電源を切った場合、次回電源を入れると自動的に 20 で出力されます。

Volume 41 → 20

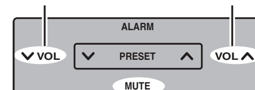
消音するには



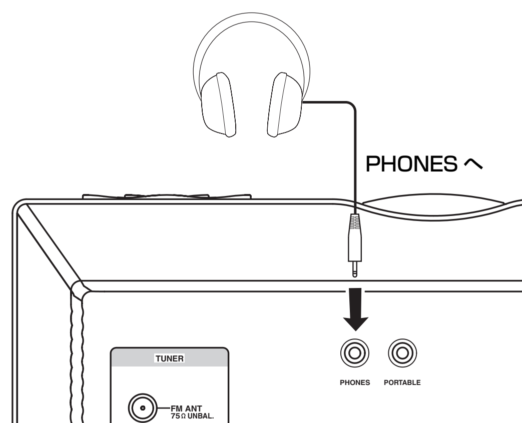


もう一度押すと消音が解除されます。

トップパネル操作



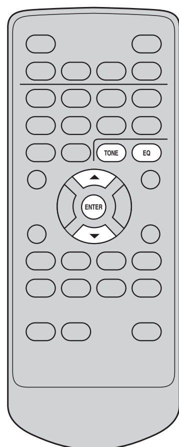
■ ヘッドフォンを使う





ヘッドフォンを接続している場合、アラーム音はスピーカーとヘッドフォンの両方から出力されます。

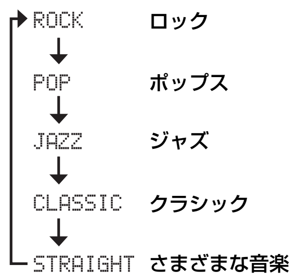
サウンドを調節する



■ 全体のサウンド調整

EQ

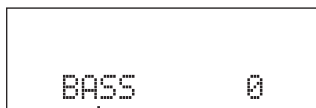
繰り返し押します。



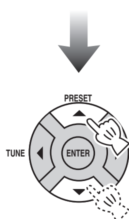
■ 低音と高音の調整

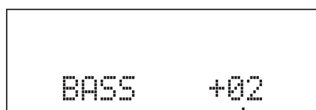
TONE

繰り返し押します。

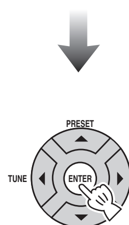


“BASS”（低音）あるいは“TREBLE”（高音）を選びます。





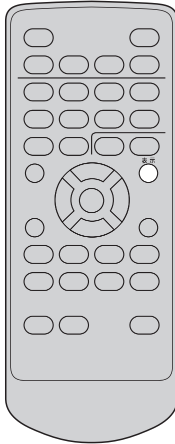
レベルを調整します（－ 10 ～ ＋ 10 dB）



確定します。

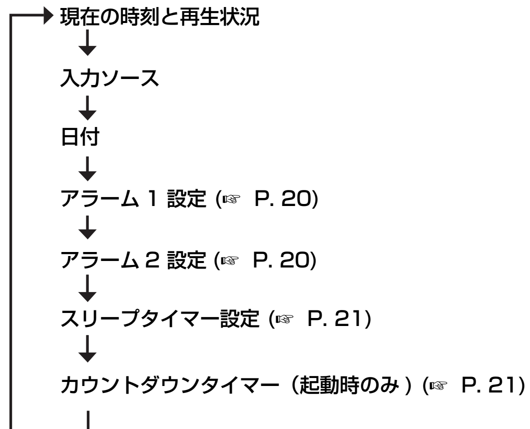
画面の表示内容と明るさを変える

■ 画面の表示内容を変える

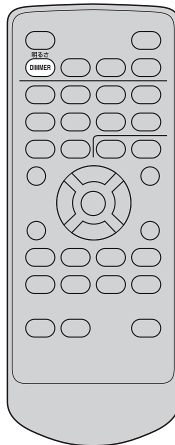


表示

繰り返し押します。

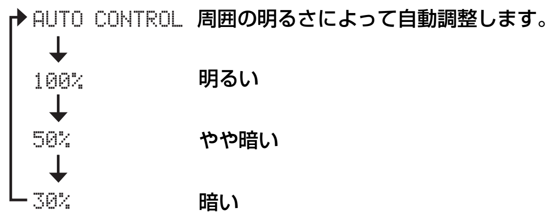


■ 画面の明るさを変える



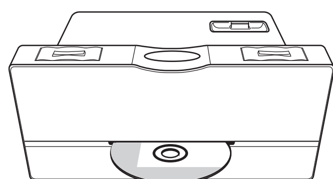
明るさ
DIMMER

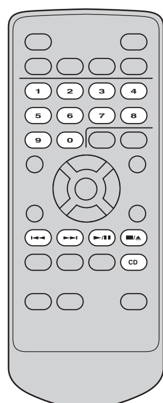
繰り返し押します。



CD、MP3/WMA ファイル、外部機器の音声を再生する

CD を聞く





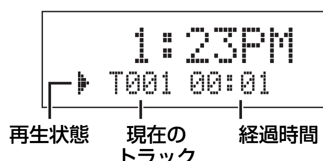


ディスクを入れます。

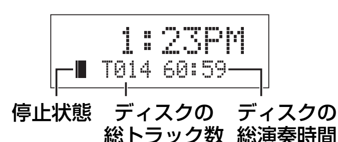


MP3/WMA ファイルが記録されたディスクを再生することもできます。

再生が始まります。



再生停止中

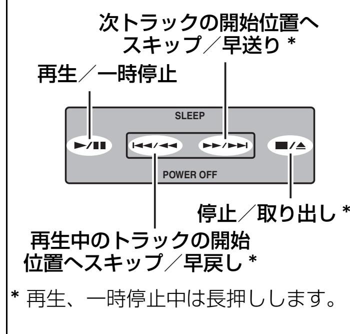




- 再生中の表示を変更できます（☞ P. 15）。
- MP3/WMA ファイルの再生中は、曲名、アーティスト名、アルバム名がスクロール表示されます。

ご注意

英数字のみ表示することができます。



■ 再生を一時停止する

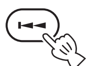




通常の再生に戻すには ►/❚❚ キーを再度押します。

■ トラックをスキップする

再生中のトラックの開始位置へ

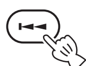


次のトラックの開始位置へ



■ 早戻し／早送りする

早戻し



早送り

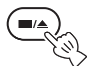


長押しします。

ご注意

音楽 CD：一時停止中に早戻し／早送りしている間は、スピーカーから音声が出力されません。
MP3/WMA ディスク：一時停止中に早戻し／早送りすると、一時停止が解除される場合もあります。

■ 再生を停止する



■ ディスクを取り出す

停止中

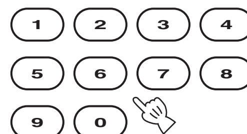


再生、一時停止中



長押しします。

■ 曲を指定して再生する

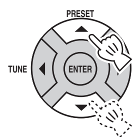


数字キーを押して曲番号を入力します。

ご注意

- 録音状態により、録音順番どおりにトラックが再生されない場合があります。
- MP3/WMA ファイルの番号は、フォルダごとではなく、ディスク全体を通して割り振られます。

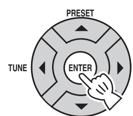
■ MP3 または WMA ディスクのファイルやフォルダを選ぶ



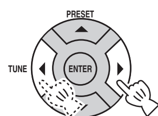
フォルダを選びます。



MP3 または WMA ディスクが再生されている時のみ

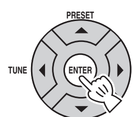






ファイルを選びます。

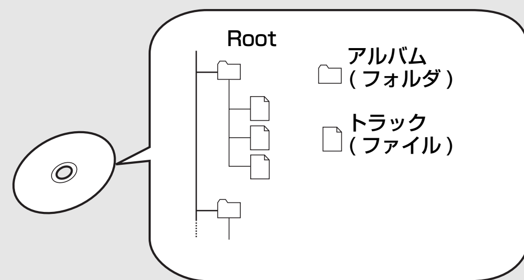




再生を開始します。

MP3 および WMA ファイルについて

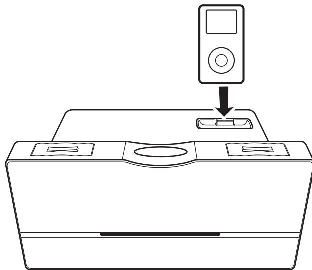
本機では、CD-R や CD-RW に収録した MP3 および WMA ファイルを音楽 CD と同様に再生することができます。この際、下図のようにフォルダはアルバム、ファイルはトラックとして認識されます。フォルダの階層は反映されません。



ご注意

- 本機が表示できるファイルおよびフォルダはそれぞれ最大 255 個です。ただし、本機で再生することができないファイルやフォルダが含まれている場合は、それらを除いた数が表示されます。
- 著作権保護がされているファイルは再生できません。

iPod を聞く



iPod（クリックホイール仕様）、iPod nano、iPod mini、iPod touch が接続できます。

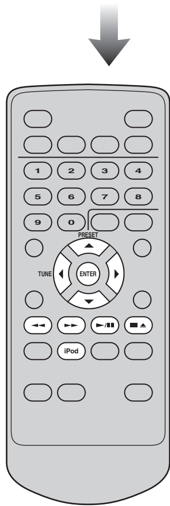


本機の電源がオン、または ECO OFF（☞ P. 6）のとき、iPod 端子に接続した iPod は自動的に充電されます。

ご注意

iPod の機種やソフトウェアのバージョンによっては、使用できない操作もあります。

iPod を接続します。





再生が始まります。

「The iPod is connected」がスクロールされたあと、次の画面に移ります。再生モードによって表示される画面が異なります。下の「再生モードを選ぶ」を参照してください。



再生状況の表示を変更することができます（☞ P. 15）。

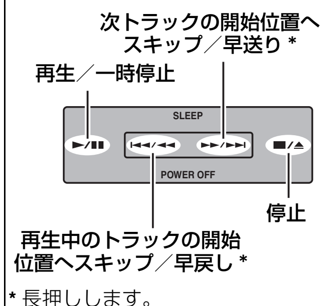
■ 再生モードを選ぶ

ノーマルモードとメニュー表示モードから、再生モードを選ぶことができます。

ノーマルモード	メニュー表示モード
· 本機の画面には再生状況は表示されません。 · iPod 本体の画面を見ながら iPod または本機のリモコンで操作します。	本機の画面を見ながら本機のリモコンで操作します（☞ P. 14）。
画面表示例（再生中） iPod Clickwheel ▲/▼：iPod メニューの項目を選びます。 ENTER/▶：選んだメニューの項目を確定します。 iPod/◀：ひとつ前のメニューに戻ります。	画面表示例（再生中） 1:23PM ▶ T001 00:01 再生状態インジケーター　現在のトラック　総演奏時間

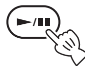
長押しします。

トップパネル操作



* 長押しします。

■ 再生を一時停止する





通常の再生に戻すには ▶/❚❚ キーを再度押します。

■ トラックをスキップする

再生中のトラックの開始位置へ　次のトラックの開始位置へ





■ 早戻し／早送りする

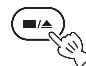
早戻し　早送り





長押しします。

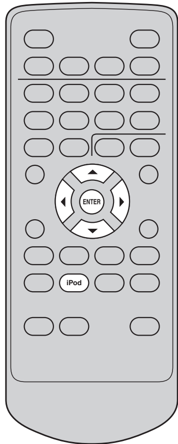
■ 再生を停止する

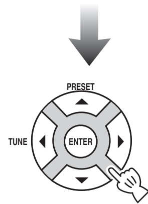


操作

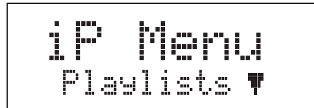
■ メニュー表示モードで操作する

iPod メニューリストから曲やアルバムを選ぶことができます。





繰り返し押します。





iPod メニューの項目を選びます。（下表では ↕ の方向）



選んだメニューの項目を確定します。（下表では→の方向）



ひとつ前のメニューに戻ります。（下表では← の方向）

iPod メニュー（トップメニュー）	サブメニュー 2	3	4	5
Playlists ⇆	プレイリスト ⇆	曲名		
↕				
Artists ⇆	アーティスト名 ⇆	アルバム名 ⇆	曲名	
↕				
Albums ⇆	アルバム名 ⇆	曲名		
↕				
Songs ⇆	曲名			
↕				
Podcasts ⇆	ポッドキャスト			
↕				
Genres ⇆	ジャンル ⇆	アーティスト名 ⇆	アルバム名 ⇆	曲名
↕				
Composers ⇆	作曲者 ⇆	アルバム名 ⇆	曲名	
↕				
Audiobook ⇆	オーディオブック			



サブメニューでは、▲/▼ ボタンを押すとお好きな曲やアルバム、アーティストなどを選ぶことができます。

画面表示例

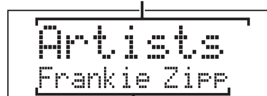
iPod メニュー（トップメニュー）　**サブメニュー 2**　**サブメニュー 3**



iPod 操作インジケーター

⇆

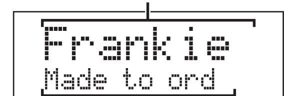
上位メニューで選択した項目



現在選択されている項目

⇆

上位メニューで選択した項目

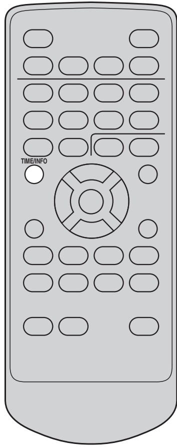


現在選択されている項目



iPod 操作インジケーターは、iPod メニュー内の操作できる方向 (▲/▼) を示します。

画面の表示内容を切り替える





繰り返し押します。

キーを押すごとに、画面の表示内容が切り替わります。

■ 音楽 CD を再生しているとき

現在の曲の総演奏時間（初期画面）



現在の曲の残り時間

ディスクの総演奏時間

ディスクの残り時間

初期画面に戻る

■ iPodやMP3/WMAディスクを再生しているとき

スクロール画面 *1（初期画面）



現在の曲（ファイル）の総演奏時間

現在の曲の残り時間

ファイル名 *2

曲名

アーティスト名

アルバム名

年 *2

コメント *2

初期画面に戻る

*1 スクロール画面は、「曲（ファイル）名」、「アーティスト名」、「アルバム名」を順に表示します。

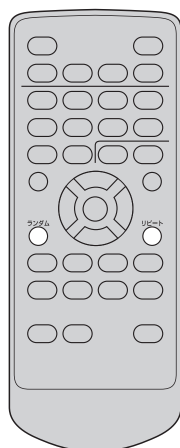
*2 MP3 または WMA ディスクのみ表示されます。

ご注意

英数字のみ表示することができます。

操作

ランダム再生／リピート再生



■ ランダム再生



繰り返し押します。

通常再生
↓
Rd（ランダム再生）
↓
Rdf（アルバムランダム再生）
（iPod のみ）

■ リピート再生



繰り返し押します。

通常再生
↓
R1（1 曲リピート再生）
↓
Rf（フォルダリピート再生）
（MP3/WMA ディスクのみ）
↓
Ra（全曲リピート再生）

ご注意

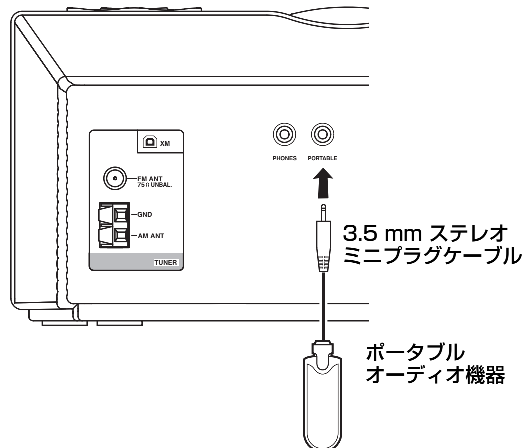
再生を停止したりディスクを取り出したりすると、ランダム再生、リピート再生は解除されます。

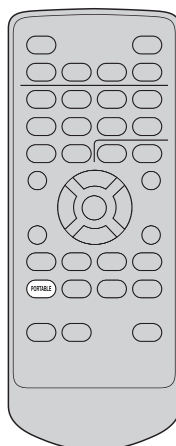
外部機器の音声を再生する

ご注意

接続する前に、本機およびポータブルオーディオ機器の音量を下げてください。

ポータブルオーディオ機器を接続する







PORTABLE

ポータブルオーディオ機器の再生を開始します。

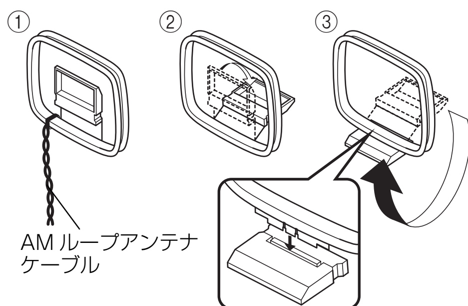


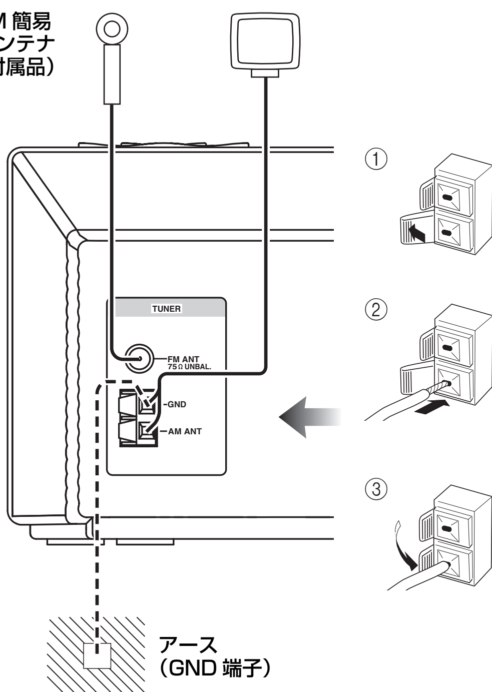
ポータブルオーディオ機器の操作については、ご使用の機器に付属している取扱説明書をご参照ください。

FM/AM ラジオを聴く

アンテナを接続する

AM ループアンテナ（付属品）





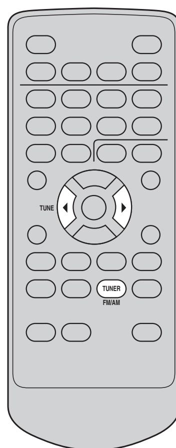
ご注意

本機に付属の AM ループアンテナはシールド型です。白いケーブルを AM ANT 端子に、黒いケーブルを GND 端子に挿入してください。

アース（GND）端子について

GND 端子は安全アースではありません。雑音が多いときに接続すると、雑音を低減することができます。アースは市販のアース棒か銅板に被覆線を接続し、湿気の多い地中に埋めてください。

放送局を選ぶ



TUNER FM/AM

FM または AM を選びます。

FM
76.0MHz



PRESET
TUNE
ENTER

長押しします。

FM
78.5MHz

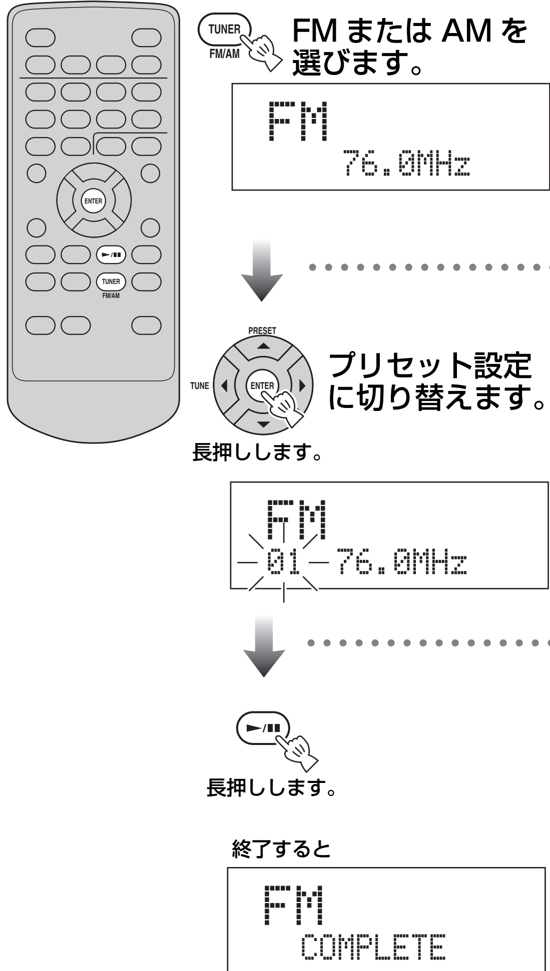


- AM 放送の受信がうまくいかない場合は、アンテナを左右に回して受信状態がよくなるように調節してください。
- TUNE ◀/▶ キーを繰り返し押して手動で選局することもできます。
- 電波の弱い FM 放送局を受信する場合は、リモコンの RANDOM キーを長押しして、モノラル音声受信にしてください。

放送局を自動登録する（自動プリセット）

ご注意

プリセット設定画面に切り替わった（画面の一部が点滅している）ときは、点滅中に操作してください。



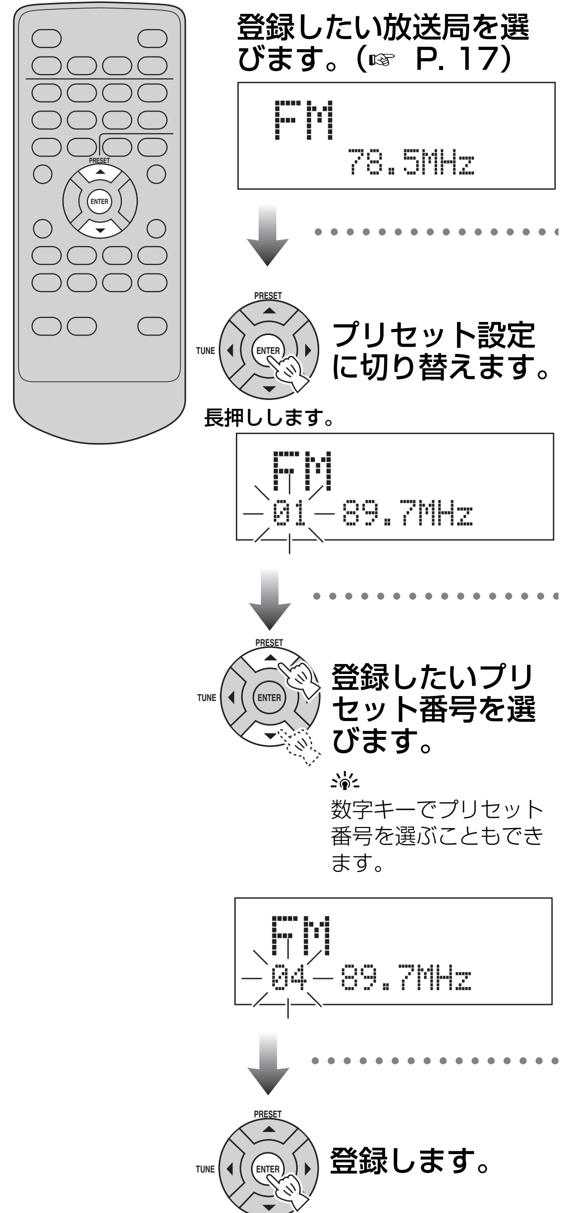


- ■/▲ キーを押すと、現在選択されている放送局が消去されます。
- ■/▲ キーを 3 秒以上長押しすると、現在登録されているすべての放送局が消去されます。

放送局を手動登録する（手動プリセット）

ご注意

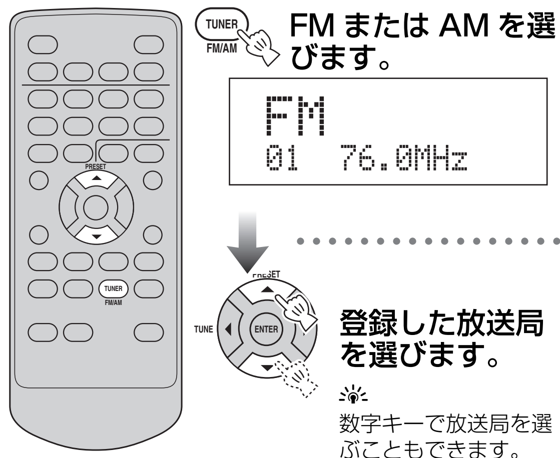
プリセット設定画面に切り替わった（画面の一部が点滅している）ときは、点滅中に操作してください。





- 本機には、FM 放送局を最大 30 局、AM 放送局を最大 20 局登録することができます。
- ■/▲ キーを押すと、現在選択されている放送局が消去されます。
- ■/▲ キーを 3 秒以上長押しすると、現在登録されているすべての放送局が消去されます。

登録した放送局を選ぶ（プリセット選局）



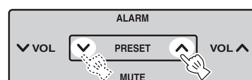
FM または AM を選びます。

登録した放送局を選びます。

数字キーで放送局を選ぶこともできます。

FM
30 108.0MHz

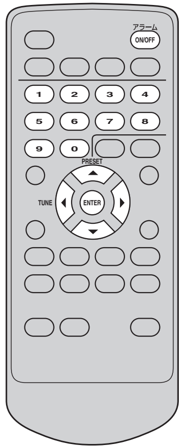
トップパネル操作



操作

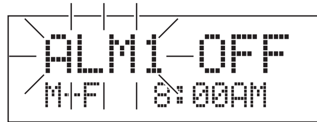
タイマーを設定する

めざまし時計のかわりに CD やラジオなどお好みの音楽を鳴らすことができます。また、おやすみの時などに自動的に電源を切ることもできます。



■ アラームを設定する





ご注意

画面の表示が消えているときは、電源をオンにしてから設定してください。

アラーム設定を調節する

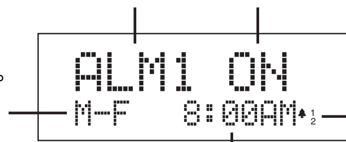


◀/▶
設定したい項目を選びます。



▲/▼
設定値を変更します。

① 「アラーム 1 または 2」を選びます。
② 「オン／オフ」を選びます。



③「繰り返し方法」を選びます。
M-F：月曜日〜金曜日
Daily：毎日
Once：1 回のみ

設定されたアラームを示します。

④ 「アラーム時刻」を設定します。

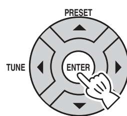
⑤ 「再生したいアラーム音」を CD、FM、AM、iPod、SOUND1（アラーム音 1）、SOUND2（アラーム音 2）の中から選びます。



⑥ 音量を調節します。



数字キーで時刻を入力することができます。





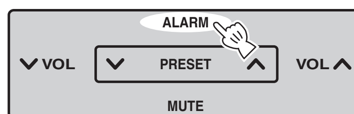
一度アラームを設定すると、**アラーム ON/OFF** キーでアラームのオン／オフを切り替えられます。

■ アラームを停止する



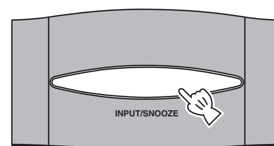
または

トップパネル操作

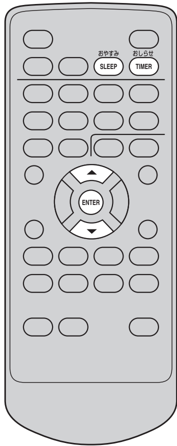


■ スヌーズ機能を使う

トップパネル操作



5 分後に再びアラーム音が鳴ります。

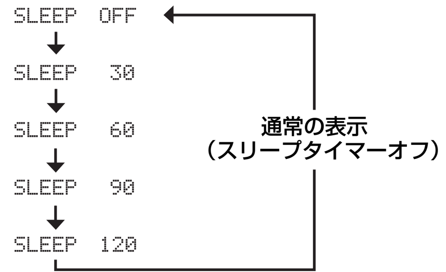


■ スリープタイマーを設定する

SLEEP

繰り返し押します。

SLEEP 60



■ カウントダウンタイマーを設定する

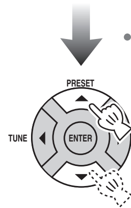
作業時間の設定をしたり、キッチンタイマーとして利用したりすることもできます。

TIMER

TIMER
OFF

ご注意

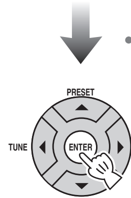
画面の表示が消えているときは、電源をオンにしてから設定してください。



カウントダウン時間を設定します。

TIMER
01 min

カウントダウンの時間を設定します（1 〜 60 分）。



確定します。

01:23PM
02min 59sec

カウントダウンが始まります。



カウントダウンタイマーを解除するには、TIMER ボタンを 2 度押して OFF を選んでください。

カウントダウンが終了するとお知らせ音（ピッピッピッ・・・）が鳴ります。



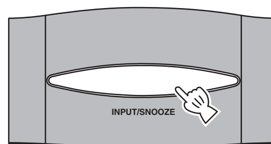
· お知らせ音は 10 秒経過するたびに、大きくなります。
· お知らせ音の音量は、本機の音量に依存します（☞ P. 8）。

■ タイマーを停止する

TIMER

または

トップパネル操作



操作

故障かな？と思ったら

使用中に本機が正常に作動しなくなった場合は、まず下記をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や下記の対処を行っても正常に作動しない場合は、本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから、お買上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点までお問い合わせください。

全般

症状	原因	対策
電源を入れてもすぐに切れる	電源コードが正しく接続されていない。	電源コードが正しくコンセントに接続されていることをご確認ください。(☞ P. 6)
	本機が落雷や過度の静電気など外部からの強い電気ショックを受けた。	本機の電源をスタンバイにして電源コードを抜いてください。約 30 秒後に電源コードをコンセントに差し、電源をオンにしてください。
スピーカーから音が出ない	音量が最小に設定されている。	音量を調節してください。(☞ P. 8)
	消音状態になっている。	消音を解除してください。(☞ P. 8)
	入力ソースが正しく選択されていない。	正しい入力ソースを選択してください。(☞ P. 8)
	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスクおよび再生しようとしているディスクの種類をご確認ください。(☞ P. 25)
音が突然出なくなる	スリープタイマー（☞ P. 21）を設定している。	電源をオンにして再生しなおしてください。
本機が正常に作動しない	本機が落雷や過度の静電気など外部からの強い電気ショックを受けた。	本機の電源をスタンバイにして電源コードを抜いてください。約 30 秒後に電源コードをコンセントに差し、電源をオンにしてください。
周囲に設置しているデジタル機器や高周波機器から雑音が出る	本機とデジタル機器または高周波機器の位置が近すぎる。	本機とそれらの機器を離して設置してください。
時刻などの設定内容が消えた	本機への電力供給が 1 週間以上遮断されていた。	電力供給が 1 週間以上遮断されると、本機のメモリーに登録された時刻設定が消えてしまうことがあります。この場合は時刻を再度設定してください。

ディスクの再生

症状	原因	対策
特定の機能がはたらかない	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類をご確認ください。(☞ P. 25)
▶/❚❚ キーを押しても再生が始まらない（すぐに停止する）	ディスクが汚れている。	ディスクの汚れを拭きとってください。
	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類をご確認ください。(☞ P. 25)
	本機を気温の低い場所から高い場所に移動したため、レンズ部に露が付いた。	本機を 1、2 時間ほど放置してから再度操作してください。
ディスクスロットにディスクが挿入されているとき「No Disc」が表示される。または「Disc Error」が表示され、ディスクが認識されない	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	ディスクを取り出し、お使いのディスクが本機に対応しているかご確認ください。(☞ P. 25)
	ディスクが汚れている、または異物が付着している。	ディスクを取り出し、汚れを拭きとってください。または付着した異物を取り除いてください。
	ディスクが裏返しにセットされている。	ディスクを取り出し、ラベル面を上にして挿入してください。

iPod

状況表示メッセージ	原因	対策
Not Support	本機が対応していない iPod が、iPod 端子に接続された。	iPod（クリックホイール仕様）、iPod nano、iPod mini、iPod touch を使用してください。
The iPod is connected	iPod が本機の iPod 端子に正しく接続され、iPod が認識された。	
Unplugged	iPod が本機の iPod 端子から外された。	
Checking	iPod に保存されている音楽ファイルが再生できない。	iPod に保存されている音楽ファイルが再生可能か確認してください。詳しくは iPod の取扱説明書をご覧ください。

放送局の受信

■ FM/AM 放送局の受信

症状	原因	対策
プリセット選局ができない (☞ P. 19)	本機のメモリーに登録された設定内容が消去された。	放送局を再度登録してください。
プリセット選局などの設定内容が消えた	本機への電力供給が 1 週間以上遮断されていた。	電力供給が 1 週間以上遮断されると、本機のメモリーに登録された設定内容が消えてしまうことがあります。この場合は各設定を再度やり直してください。(☞ P. 18)

■ FM 放送局の受信

症状	原因	対策
ステレオ放送になると雑音が多くなる	FM 簡易アンテナが正しく接続されていない。	FM 簡易アンテナが正しく接続されていることをご確認ください。 (☞ P. 17)
	選択している FM 放送局の電波が弱い、またはお住まいの地域の FM 放送局の受信感度が良くない。	手動選局で雑音を軽減するか（☞ P. 17)、別売りの屋外アンテナをご使用ください。
屋外アンテナを使用していても受信感度が悪い（音が歪むなど）	マルチパス (多重反射) などの妨害電波を受けている。	アンテナの高さや方向、設置場所を変えてください。

■ AM 放送局の受信

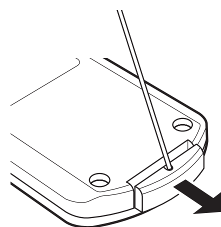
症状	原因	対策
雑音が多い	空電や雷による雑音、または蛍光灯、モーター、サーモスタット付きの電気器具などの雑音を拾っている。	この種類の雑音を完全に除去するのは困難です。屋外アンテナを使用して、アース線を正しく接続すると雑音が軽減できる場合があります。
	本機とテレビの位置が近すぎる。（特に夕方〜夜になると雑音が入る場合）	本機をテレビから離して設置してください。
自動選局ができない (☞ P. 17)	AM ループアンテナが正しく接続されていない。	AM ループアンテナが正しく接続されていることをご確認ください。 (☞ P. 17)

リモコンの操作

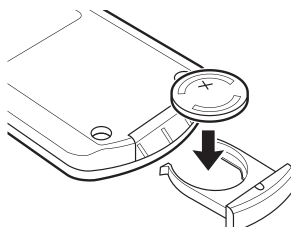
症状	原因	対策
リモコンで本機を操作できない	リモコンの操作範囲外から操作しようとしている。	リモコンの操作範囲については、「リモコンを使用する」（☞ P. 5）をご参照ください。
	本機のリモコン受光部に直射日光や照明があたっている。	照明または本機の向きを変更してください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください
	リモコンと本機のリモコン受光窓の間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。

■ リモコンの電池を交換する

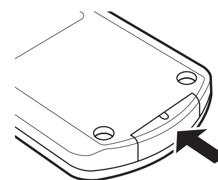
リモコンの電池が消耗すると、リモコンで本機を操作できる距離が極端に短くなります。このような場合、早めに新しい電池と交換してください。











先の細いピンなどで電池ケースを取り外します。

新しい CR2025 型ボタン電池を電池ケースに挿入します。

電池ケースをリモコンに装着します。

ご注意

・ 電池の向き（＋ / −）を正しく挿入してください。
・ 使い切った電池はただちにリモコンから取り出してください。リモコンに挿入したままにしておくと、破裂や液漏れの原因となります。
・ 電池が液漏れしている場合は、ただちに電池をリモコンから取り出し、廃棄してください。その際、肌や衣服が漏れているバッテリー液に触れることのないよう十分ご注意ください。リモコンにバッテリー液が付着している場合はきれいに拭き取ってから新しい電池を挿入してください。
・ 新しい電池に取り替える前に、電池ケースの汚れをふき取ってください。
・ 使い切った電池は地域の条例または取り決めに従って廃棄してください。

ディスクについて

ディスクに関するご注意

本機は音楽 CD、CD-R/RW、8 cm ディスクを再生できます。





ディスクのロゴマークは、ディスクやディスクのジャケットに印刷されています。

ご注意

本機の故障やディスクの破損の原因となりますので、これ以外のディスクは使用しないでください。

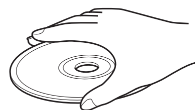
本機は下記のデータディスクに対応しています。

- CD-R/RW に保存された MP3 ファイル（サンプリング周波数 44.1 または 48 kHz ／ビットレート 32、64、96、128、192、256 または 320 kbps および可変ビットレート（CBR および VBR））
- CD-R/RW に保存された WMA ファイル（サンプリング周波数 44.1 kHz ／ビットレート 192 kbps 以下および可変ビットレート（CBR および VBR））
- ISO 9660 フォーマットの CD-R/RW

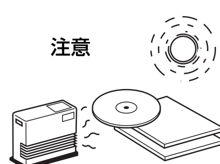
ご注意

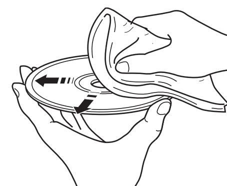
- ファイナライズされていない CD-R や CD-RW ディスクは再生できません。ファイナライズとは、各ディスクの再生対応機器で再生できるように処理することです。
- 信頼できるメーカーのディスクを使用してください。録音状態やディスクの特性によっては、再生できない場合があります。
- ハート型などの特殊形状のディスクは使用しないでください。
- 表面に傷のあるディスクは使用しないでください。
- 著作権保護がかけられている WMA ファイルは再生できません。
- 48 kHz のサンプリング周波数は、44.1 kHz にダウンサンプリングされて再生します。

ディスクの取扱いについて



- ディスクを持つときは、ディスクの縁や中央の穴を持つようにし、表面に触れないでください。
- 再生時以外はディスクをディスクスロットに入れたままにしないでください。
- ディスクに鉛筆などで字を書かないでください。
- ディスクにテープやシールなどを貼ったり、のりなどをつけないでください。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わないでください。
- 市販のラベルプリンターで表面に印刷したディスクは使わないでください。
- ディスクを保管する際には、直射日光のあたるところや温度の高いところ、湿気やほこりの多いところは避けてください。





- ディスクが汚れたときには、乾いた柔らかい布で中心から外側へふいてください。レコードクリーナーやシンナーなどは使わないでください
- 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーなどは使わないでください。
- ディスクは 1 枚だけ挿入してください。2 枚以上重ねて挿入すると故障の原因となり、ディスクを傷つけることにもなります。
- 8 cm ディスクは、アダプターを使用せずに挿入してください。
- ディスク以外のものをディスクスロットに挿入しないでください。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。

用語解説

■ MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)
MPEG で利用される音声圧縮方式の一つ。人間の感じ取りにくい部分のデータを間引く非可逆圧縮方式を採用しています。音楽 CD 並みの音質を保ったままデータ量を約 1/11 に圧縮できるといわれています。

■ WMA (Windows Media Audio)
Microsoft 社が開発した音声圧縮方式。人間の感じ取りにくい部分のデータを間引く非可逆圧縮方式を採用しています。音楽 CD 並みの音質を保ったままデータ量を約 1/22（64 kbps）まで圧縮できるといわれています。

■ PCM (Pulse Code Modulation)
アナログ信号を圧縮せずに変調記録する方式。音楽 CD は、44.1 kHz/16 bit で記録されています。

■ サンプリング周波数／量子化ビット数
アナログ音声信号をデジタル信号化する際に、1 秒間にサンプリング（信号の大きさを数値に置き換えること）を行う回数をサンプリング周波数といい、音の大きさを数値化するときのきめの細かさを量子化ビット数といいます。再生できる周波数帯は「サンプリング周波数」で決まり、音量の差を表わすダイナミックレンジは「量子化ビット数」で決まります。原理的には、サンプリング周波数が高いほど再生可能な音域が広がり、量子化ビット数が大きいほど音の大きさの変化をきめ細かく再現できることになります。

■ トラック
CD は、いくつかの区切り（トラック）に分けられています。これらの区切りの番号をトラック番号と呼びます。

主な仕様

■ プレーヤー部

再生システム

・CD、CD-R/RW

レーザー

・タイプ .... GaAIAs
・波長 .... 780 nm
・放出継続時間 .... 連続
・出力 .... 最大 44.6 μW*

* 出力の値は、光学ピックアップブロックの対物レンズ表面から約 200 mm での測定値です。

■ アンプ部

・定格出力（EIAJ）............ 10 W + 10 W
・入力感度／インピーダンス
　PORTABLE............ 300 mV/47 kΩ
・出力レベル／インピーダンス
　PHONES（ボリューム最大時）............ 470 mV/32 Ω



音楽を楽しむエチケット
楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

■ iPod 部

・対応 iPod .... iPod（クリックホイール仕様）、iPod nano、iPod mini、iPod touch

■ チューナー部

FM

・受信周波数範囲............ 76.0 ～ 108.0 MHz

AM

・受信周波数範囲............ 522 ～ 1629 kHz

■ 総合

・電源電圧／周波数............ AC 100 V、50/60 Hz
・消費電力 .... 20 W
・待機時消費電力............ 1.0 W 以下
・外形寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)
.... 300 x 141.5 x 200 mm
・質量 .... 2.7 kg

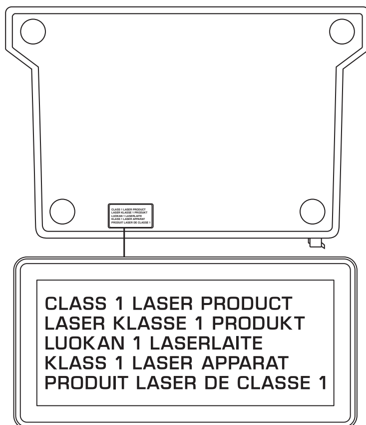
仕様、および外観は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

お手入れのしかた
キャビネットを美しく保つため、柔らかい布で乾拭きするようにしてください。汚れがひどいときは、水を布に含ませ、よくしぼって拭き取ってください。

レーザー

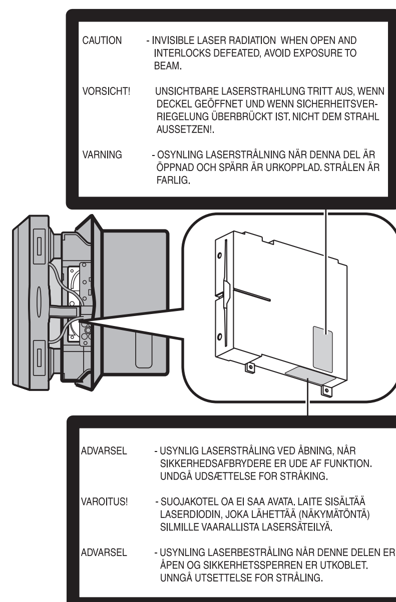
タイプ	GaAIAs
波長	780 nm
出力	最大 44.6 μW

クラス 1 レーザー製品



ご注意

この取扱説明書に記載されている以外の調節や操作は、有害な放射を引き起こす可能性があります。



ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。

http://www.yamaha.co.jp/audio/

■ AVお客様ご相談センター



0570-01-1808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

FAX (053) 460-3459
〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受 付 日：月～土曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）
受付時間：10:00～12:00、13:00～18:00

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ電気音響製品修理受付センター



0570-01-2808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

FAX (053) 463-1127

受 付 日：月～土曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）
受付時間：月～金曜日 9:00～19:00　土曜日 9:00～17:30

修理お持ち込み窓口
受 付 日：月～金曜日（祝日および弊社の休業日を除く）
受付時間：9:00～17:45

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50
ヤマハセンター内
FAX (011)512-6109

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03)5762-2125

浜松 〒435-0016 浜松市東区和田町200
ヤマハ(株)和田工場内
FAX (053)462-9244

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2
ヤマハ(株)名古屋倉庫3F
FAX (052)652-0043

大阪 〒564-0052 吹田市広芝町10-28
オーク江坂ビルディング2F
FAX (06)6330-5535

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4
FAX (092)472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

● 保証期間
お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているとき
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● 修理料金の仕組み
技術料　故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代　修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● 補修用性能部品の最低保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 製品の状態は詳しく
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

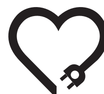
● スピーカーの修理
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● 摩耗部品の交換について
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品修理受付センターへご相談ください。

摩耗部品の一例
ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！



こんな症状はありませんか？
- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。
事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、
必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社
Printed in China　CQX1A1291Y